

■平駅大通り店 電話②① 1 1 5 5
■平・旧城跡 電話②③ 2 9 1 9

いわき市議選挙

組織固めのマラソンに突入

定員48人
に対して
75人前後が出馬か

旧五市に各党公認候補

任期満了まであと274日。今年最大の政治イベント、いわき市議会議員選挙の前哨戦が早くも活発化してきた。正月明けには立候補予定者もほぼ出揃い、こぞ組織固めのマラソン・レースに突入するものとされる。定数四十八人に対し、現在、出馬が確定されているのは、政公連二十一人、無所属四十七人、七十五人前後。保守系四人、革新系一五人の割合で、前回の市議選(四十七年九月)に比べると、①現職の引退が少ない②旧五市全部に社会、民社、公明、共産各党の公認候補が出る③婦人と純粋戦後の子の青年が新風を吹き込み、一昨秋の市長戦で歴史的な「保守接近」をなしたと議院内多数党の革新陣営が、党派を超えての「保守接近」を現実化するかに絞られよう。総選挙がどうも予想される。審判の秋、九月前哨の情勢を探って文の中を眺めよう。

小選挙区制の延長で

まず、選挙区問題から。革新陣営の延長が決まるのは必至、このた

平は定員一人増
出馬確定

磐城では二人が引退か

るが、が焦点。

役の井沢雄雄(同)は各のどう

◆平(定数1)

渡辺昇、渡辺正、四家啓助

坂本昌蔵、渡辺幸一、渡辺多喜

金子松男、矢吹康(以上無所属)

と、伊東達也(共産党)、佐川吉

平(公明党)の現職十人は出馬が

確定的。これに元市議の松崎文吉

(社会党)、新人の鈴木久(同)

木田裕(民社党)、菅波庄助(無

所属)の四人が挑戦する形になり

そう。前回十二位に終わった宮内

昭喜(同)はまだ流動的。失地回

復をめざす社会党、市長選、県議

選と意気あがる民社党が定数一

の増を材料として、まで食い込め

開票は有権者一人ひとりの厳

正な審判が下る一戦である。こ

とはこのような開票風景を三

回経験する見込みである。

勿来の二人引退確実

常磐は現五人が再出馬

◆勿来(7)

田口誠二(無所属)と木内浩

同)の引退が確実となった。新

新に就いて勝つていない。新

◆勿来(7)

田口誠二(無所属)と木内浩

同)の引退が確実となった。新

新に就いて勝つていない。新

◆勿来(7)

田口誠二(無所属)と木内浩

同)の引退が確実となった。新

新に就いて勝つていない。新

激戦予想の内郷

5議席を9人で争奪か

四倉も現職3人が出馬

◆内郷(6)

伝説的に乱立する地区。沼田

一之(無所属)、吉田栄(民社党)

多喜重吉(同)、斎藤隆行(同)、

高秋元(共産党)の現職五人、菅

波大十(無所属)、天海盛(同)

の元市議、新人の生田弘(社会党)

計八人の名前が上っており、公

明党の新人が決まると五議席を九

人で争うことになる。

◆四倉(3)

鈴木正平(社会党)、吉田正

無所属、永井俊正(同)の現職

を向うに回して、共産党の新人

宮本勝、元市議の吉田豊重(無

所属)がどう戦うか。

◆遠野(1)

情勢はまだ流動的。現職の佐川

正元(無所属)のほかに、二、三

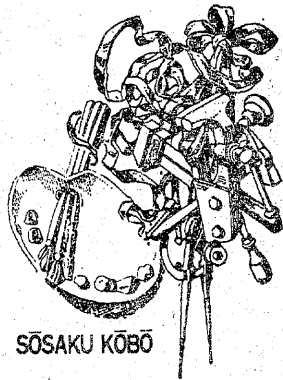
人の名前が上っているが、最終

的には同町出身の高級公務員と佐

川の一騎打になる公算が強い。

あけまして
おめでとうございます

昭和51年 元日



SŌSAKU KŌBŌ

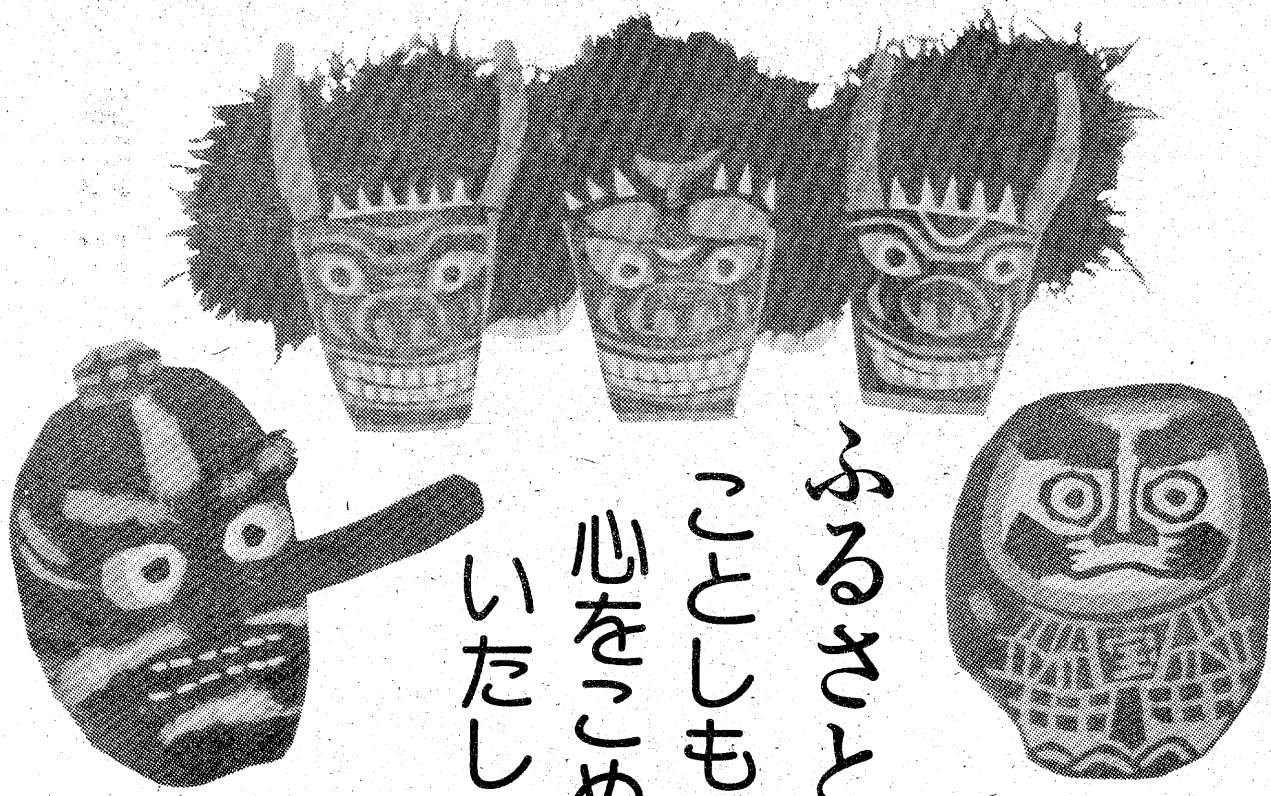
明日の夢を創り出す技能集団

創作工房・安川

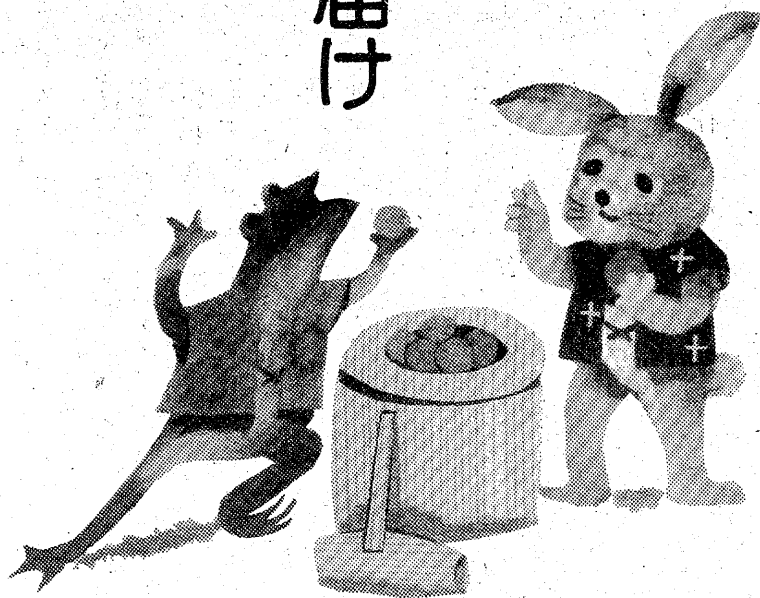
いわき市平盤34・2298 YKK・常盤ヤンマー・市原商店・日東電工

●カラー広告社が社名を変えました

'76 あけまして おめでとう ございます



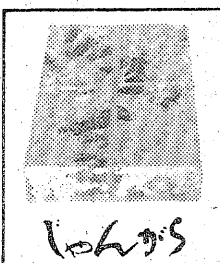
ふるさとの味
ことしも大切に、
心をこめてお届け
いたします。



じゃんがら本舗

みよし

代表取締役 荒井 政 工
社 員 一 同
本店・いわき市平・田町23-7111(代)
銀座店・平駅ビル店・平駅前店
小名浜店・湯本店
榎田店・勿来店
磯原店・高萩店・日立店
常磐ハワイアンセンター売店
福島駅ビルのれん街
国鉄弘済会売店



しんがら



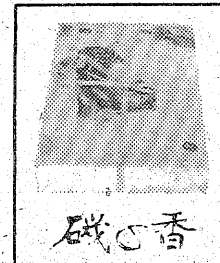
コンサージュ



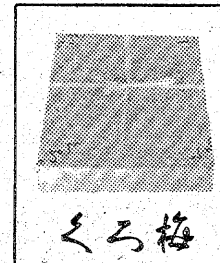
餅競争



アザリ-パティ



磯の香



くら梅



かすてら

●浜なつとう●大どら●おとし栗●じゃんがらサブレ●ふらんす風高級ケーキ●いわき金色堂●バウムクーヘン●アップルパイ●フルーツケーキ●ラ・セーヌ●フッキーズ etc.

田畑市長と語る

野沢本社社長

市民参加の行政をめざす

新春
對談

①

まず支所を充実
地域の核に引き上げ

日本一住みよいマチに

○…田畑市政　二度目の新春を迎えた。日本全島を襲った不
○…況のあらしも、この秋ころには落ち着きそうで、「田畑
○…丸」の全速前進を期待したい、とはいへ低成長時代に入
○…って市政の好転はしめない。その乏しい懷を、英知
○…と実行力で独特の市政を展開しようという田畑金光市長

は、支所を充実して地域の核に引き上げ、今年の課
 題を「対話」から「市民参加」の行政に進め、みんな
 手を取り合って、日本一住みよいまちづくりをめざ
 している。恒例の「新春対談」、野沢武蔵本社長と
 語り合ってもらった。

(石川)○○○

政難の中でやり抜いただけに感銘が深いと思ひます。さて辰年の入り7月を迎え、新年の話題でも入りますよ。まず新年の話題ですが、その構想から、田畑市政の「自玉」は支所を拡充してサービスを強化することだと思ひていま

政難の中でやり抜いただけに感銘が深いと思ひます。さて辰年の入り7月を迎え、新年の話題でも入りますよ。まず新年の話題ですが、その構想から、田畑市政の「自玉」は支所を拡充してサービスを強化することだと思ひていま

つて村や町が役場を中心に発展すべきことは存じの通りです。従つてその役場(支所)を充実に、土地の人たちの生活環境を

大事にしなければならぬ。これが第一の課題です。

第二は福祉面からみてどうあるべきかということです。それには福祉事務所の拡強化を図りたい。今の市民部にある年金課、国民保険課を厚生部に入れて、ま

人事は適材適所で

新年度は重点予算で臨む

野沢 田畑市長の考ええる行政交
流するところによつて、支所
勢、サービスの重点を盛つた機構
で、また本庁も別のものになつてく
改革というものが概略わかつてき
て、生じたものになつてく
思ひますが、大変結構なものだと私も
思ひますが、問題は運用にありま
す。幾層組織かによつて、長官
と、主任と、主任と主任と

から、この後を控える人事が大きな課題だ。息男。当然四月には大異動が、それも、由畑ラインを引いて、田畑イズムを発揮することになると思われますが、どうですか。

また大変です。市税を上げると、平成四年に約三割を上げた。百億円以上になった。件費、費などの増強で事業費や福祉、保健、結局は市民サービスのつながらないことなので、まあ、これは、わきま市ではないのです。

田畑 今のところ、まだ大異動になるか小異動になるか、人事構想は持ち合わせておりません。が、機構改革後の四月には当然やうねはなっています。本庁、支所と決まっております。昨年十

ニタウンは新年から着工

行政機構も審議会で検討中

市民との対話を続ける

すが、その廳改革はいつ、どのようになるかわれていますが、どのような形でやれるのですか。

つぎです。

田畑 一承知の通り日本経協協 田畑 今回のところ、まだ大異動が市の機構や配置などを見てもなるから異動になるが、人事構えらたわと、この報告書をタカキ想は持たせておきません。が、台に部長支所長ら市職員で構成機構改後の四月には当然やらねした市調整委員会を検討させ、そばない。まず、本庁支所と決まっております。昨年十

引して、田畑イスムを発掘するにつながらることになるのでは

もったい、これはわか市ではではないのでしょうか。

田畑 そうです。一番頭のは、五十二年の財政運用うするかという事です。二のように國の新年度予算が

福祉優先の政
策は続ける

このため五十二年度の新規採用
ストップしました（これは良い
とは思っていません）。また
十年度は思い切って残業手当な
を節約して一億円を、消耗品、
旅費などを必要最小限度にシ

が低いようなので、新年度も、
用努力、して貴重な財源を重点
に使っていきたい。

しかし、この福祉については昨
予算上り削減することはありま
ん。この不況、この物価高の
市民の中の弱い層が苦しんで
ることを考えますと、後退させ
ることは出来ません。むしろ、な

投資的経費へのシワ寄せ、減率
低成長時代の産物で、各地方
自治体の悩みでもありますが、危
険な新設など、重点的に精いつづい

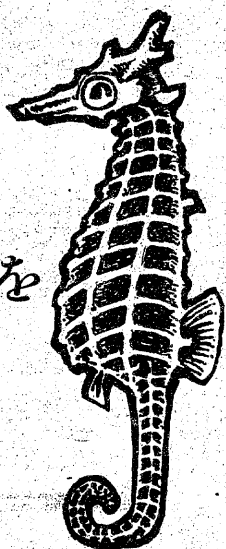
野沢 政府の新年度予算は前年より二四％の伸び率をみているんですが、いわき市の場合はどう程度になりますか。

田畑 そうですネ、結局いわき

は当然予測されますねエ。

あけまして おめでとう ございます
'76

手造りの 確かな技術で快適空間を



オーダー家具・住宅・店舗の内装施工

丸ほん木五株式会社

いわき市平・新田前 ☎74-6620



池		坊	支部長	山口 秀華 会 員 同
小	原	流	支部長	熊谷 豊紅 会 員 同
三	翠	流	支部長	先崎 翠峰 会 員 同
龍	生	派	支部長	高木 美水 会 員 同
梶	井	御	支部長	氏家 隆秀 会 員 同
いわき市華道連合会		会 長	横山 千代	

いわき市華道連合会

昭和51年紙上名刺交換会

(順不同)



井上工業株式会社
取締役副社長
越智英男

井上工業株式会社
取締役副社長



井上工業グループ
代表取締役
井上 隆

井上工業グループ
代表取締役



いわき少年センター
補導員連絡協議会長
県立平商業高等学校PTA会長
伊東 実

いわき少年センター
補導員連絡協議会長
県立平商業高等学校PTA会長

■牛久し食堂 平駅前 電話三〇三三



福島県神社庁副庁長
福島県護国神社宮司
飯野八幡宮宮司
飯野盛男

福島県神社庁副庁長
福島県護国神社宮司
飯野八幡宮宮司

いわき市平字高月 電話四三六六



安濃胃腸科内科医院 院長
安懐崇一

安濃胃腸科内科医院 院長

いわき市平字高月 電話六〇〇〇



いわき商工会議所 会頭
野崎雄夫

いわき商工会議所 会頭

いわき市平字高月 電話九二五二



株式会社 田中カメラ店
株式会社 田中電器商事
代表
田中 健二

株式会社 田中カメラ店
株式会社 田中電器商事
代表

いわき市平字中町六 電話二五七四



坂井税理士事務所
坂井 健二

坂井税理士事務所

いわき市平字旧城跡一四二 電話六二五七



か 義武 久



内郷ショッピングセンター
理事長
大滝 應喜

内郷ショッピングセンター
理事長

いわき市内郷線町下四六 電話〇五〇〇代



福島県磐城第一高等学校校長
福島県磐城第二高等学校校長
平高等洋裁学院 院長
山崎 啓哲

福島県磐城第一高等学校校長
福島県磐城第二高等学校校長
平高等洋裁学院 院長

いわき市内郷線町上宿二 電話二二五二
いわき市平字高月 電話六二五二
いわき市平字高月 電話六二五二



諸橋金物株式会社
諸橋電機株式会社
諸橋家庭電器株式会社
諸橋生コン株式会社
代表取締役
田中 健二

諸橋金物株式会社
諸橋電機株式会社
諸橋家庭電器株式会社
諸橋生コン株式会社
代表取締役

いわき市平字高月 電話二二二二



株式会社 大黒屋
取締役 社長
馬目 精一

株式会社 大黒屋
取締役 社長

いわき市平字小太郎町 電話二二六二



財団法人 松村総合病院 院長
松村 亨

財団法人 松村総合病院 院長



平料亭組合・平社交クラブ
組合長
大出 信長

平料亭組合・平社交クラブ
組合長

事務所いわき市平字小太郎町 電話二二二二

昭和51年紙上名刺交換会

(順不同)



川和 徳一

株式会社 加地和組
取締役 社長



大河内 一郎

社会福祉法人
いわき福音協会理事長



市井 茂

弁護士



安藤 敏信

旧磐城平藩主
安藤対馬守伝来
御家流十六世宗家

横浜市緑区もえぎ二四三〇 電話四五(九七)八六七三
東京都渋谷区笹塚三目二四ノ五号(御家流事務所) 電話三三(七六)一七二四



阿部 乙之

阿部商事株式会社
代表取締役

いわき市平字田町二四 電話六一四二一代



瀬戸 照雄

瀬戸商会いわき支店長
いわき冠婚葬祭互助会
代表取締役

いわき市内通御殿町久世原一〇一 電話一〇〇九・四二二三



鈴木 将夫

医療法人
済福会 長橋病院 院長

いわき市内郷御殿町 電話三五二六代



鈴木 勇作

鈴木消防器機株式会社
代表取締役

いわき市北平字宮前五の六 電話四七四七



志賀 敏一

志賀 整形外科
外 科

いわき市平字鍛冶町 電話五〇五〇



小田 亀太郎

平商事株式会社
ヤマニ書房
取締役 社長

いわき市平字二丁目 電話三四八一



山部 隆雄

いわき市農業共済組合
組合長 理事

事務所 いわき市平字桑川町一〇三三 電話三三(七六)七〇三三



湊井 清

株式会社 三鋼
代表取締役

いわき市小浜原字田町五 電話四二九・四三〇八



長谷川 常吉

堀江工業株式会社
取締役 社長

いわき市平字榎小路 電話三三二一代



瀧口 安正

株式会社 丸一材木店
専務 取締役

いわき市平字五町八 電話〇五五一代



高野 巖

原町商工会議所副会長
原町市商店連合会長
原町市法人会副会長
平商事支店 支店長

原町市栄町三自二六 夕力ノ義塾 電話三二五八

いわき民報 創刊30周年記念

本社ことしの行事

創刊30周年記念式典

いわき民報社は今年創刊三十周年を迎えました。これを記念する式典は四月中旬、いわき民報ビル五階大ホールに關係者を招待して永年勤続社員表彰などの記念行事などごあわせ、盛大に行います。

いわき民報縮刷版発行

いわき民報三十周年を記念する縮刷版を昭和五十一年一月分から毎月十五日発行することに決まりました。情報化社会における生きた郷土の記録として必ずやご満足頂けるものと確信しております。B5判、二百六十頁(平均)、上質紙、オフセット印刷。定価千八百円、年間契約前納の場合は割引になります。

星新一文化記念講演会

文壇で活躍中のいわき市出身作家星新一氏を迎え、四月三日午後一時からいわき市・市文化センター大ホールで、いわき民報創刊三十周年記念文化大講演会を開催いたします。入場無料。(講師の星新一さんは、故星一先生の長男)

「いわきの風物」出版

好評のうちに昨年いわき民報に掲載された坂本勇氏の版画「古山」氏の詩による「いわきの風物」は愛読者のみなさまから強い要望があるため今年出版することに決まりました。詳しくは追って発表しますが、ご期待ください。

民俗芸能獅子舞大会

伝統ある郷土の民俗芸能を広く市民に紹介し伝統の継承をはかるため、いわき民報社はいわき市文化センターと共催で、二月八日同センター大ホールで民俗芸能獅子舞大会と市内の獅子頭展示会を開催いたします。

恒例の行事

◇いわき民報賞
本社が25周年記念事業の一環として、四十六年に開設したもので、地域社会の発展のために貢献した個人または団体を表彰しているもの。

第一回は「タバススキー」など、世界的な発想をもたらし平地学向好会会長柳沢一郎氏(磐城高教頭・理学博士・いわき短大講師)に贈られた。第二回はいわき市協会の理事長として、永年肢体不自由児などの福祉対策、コロナ建設に貢献してきた大河内一郎氏に、第三回は名浜開港以来十八年清水八人として、世界の船舶千五百隻以上を安全に導いてきた水先人協会長村山政吉氏に、第四回は第一筋に地域文化向上の貢献に努力している、日本合唱指導者協会会長石河清氏に、そして第五回の昨年は、純粋和紙一筋に五十六年、郷土遺産の伝承・研さんを続けている、無形文化財、瀬谷俊次氏に贈った。今年も、慎重に審査、追って発表する。

◇第17回いわき地方高校野球選手権大会
いわき地区高校野球連盟主催、本誌後援で毎年五月から六月にかけて行われ、甲子園出場を決める夏の大会前哨戦として十校が参加する。

◇第11回いわき民報社黒獅子旗争奪中学校新人野球大会
本誌主催で今秋十月に行われる。出場チームは四支部で選り勝った八チームで競い合う。本誌では優勝チームに黒獅子旗、準優勝チームに盾を贈る。

◇第6回いわき民報社優勝旗争奪中学校女子ソフトボール大会
いわき市ソフトボール協会、本誌共催で十月に行われる。一昨年から、出場チームは本誌が市内中学校に直接参加を募った主催行事。優勝チームには本誌から優勝旗、準優勝チームには盾が贈られる。

◇民報柳壇賞
本誌では早くから「民報柳壇賞」を設け、毎月応募者の中から二編の特選を選び(選者・加藤春風氏)、記念品を贈って表彰している。

新連載紹介

「新しい風土記」

日本民俗学会会員和田文夫氏が担当します。

「わたしの作品」

いわき市出身者、在住者の作品を紹介する。

「この道三十年」

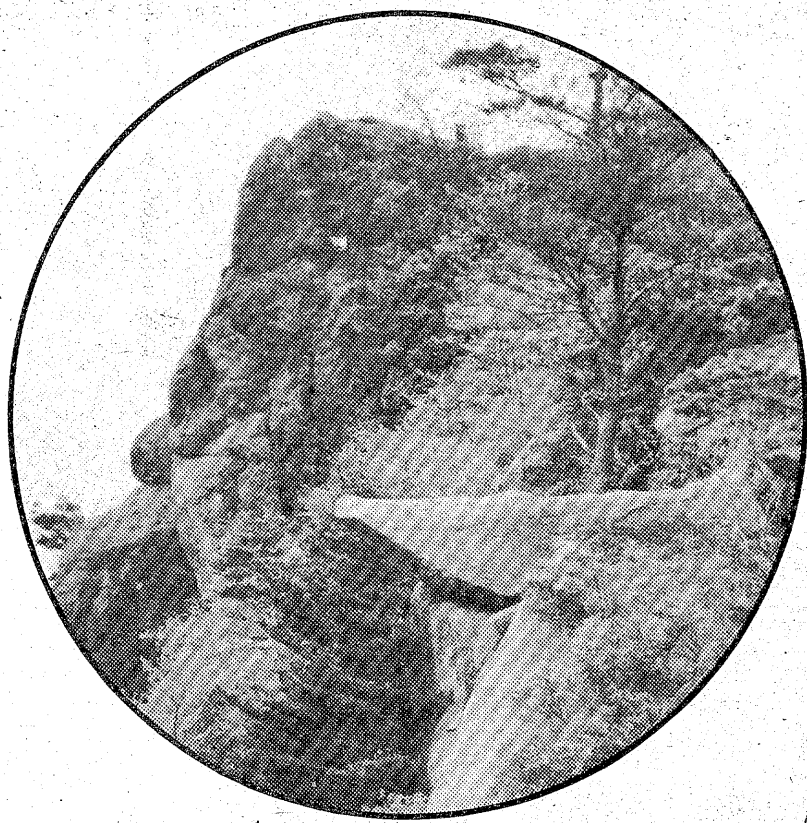
いわき民報創刊三十周年にあたっての回顧企画。

あけましておめでとうございます

昭和51年 元日

環境保全

これがわが社の
願いです
ことしも全社あげて
がんばります



〈二ツ箭山宝船岩〉

産業廃棄物処理業

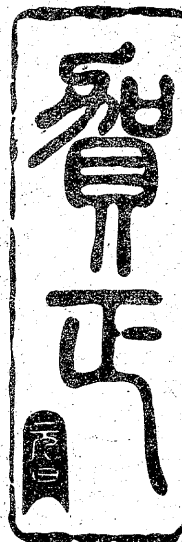


ひめゆり総業株式会社

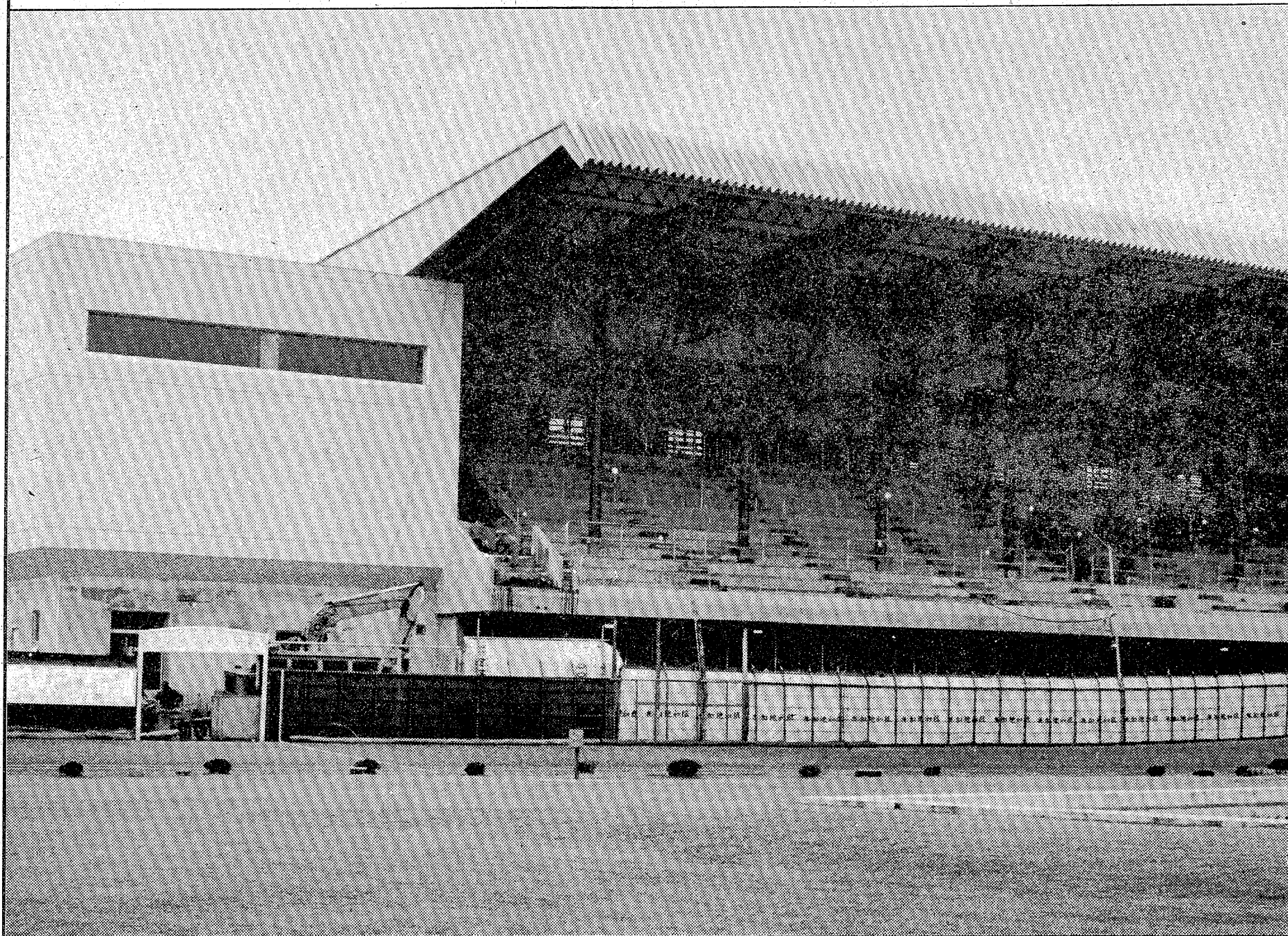
取締役社長 太田忠雄

いわき市内郷宮町町田105 電26-4111代

ことしも地域社会の 建設に努めます



平競輪場は南側にスタンドと管理事務所を建設中だったが、ほぼ完成し、新春から使用することになった。新装のスタンドには2,500人が収容でき、北側のスタンドをふくめると15,000人となる。これで、まず見やすくなり、混雑もさけられるし、管理事務所に設けられた車券売場には金網はなく全面ガラスにして明るい感じにした。これで楽しい競輪ができればと事業課ではよろこんでいる。



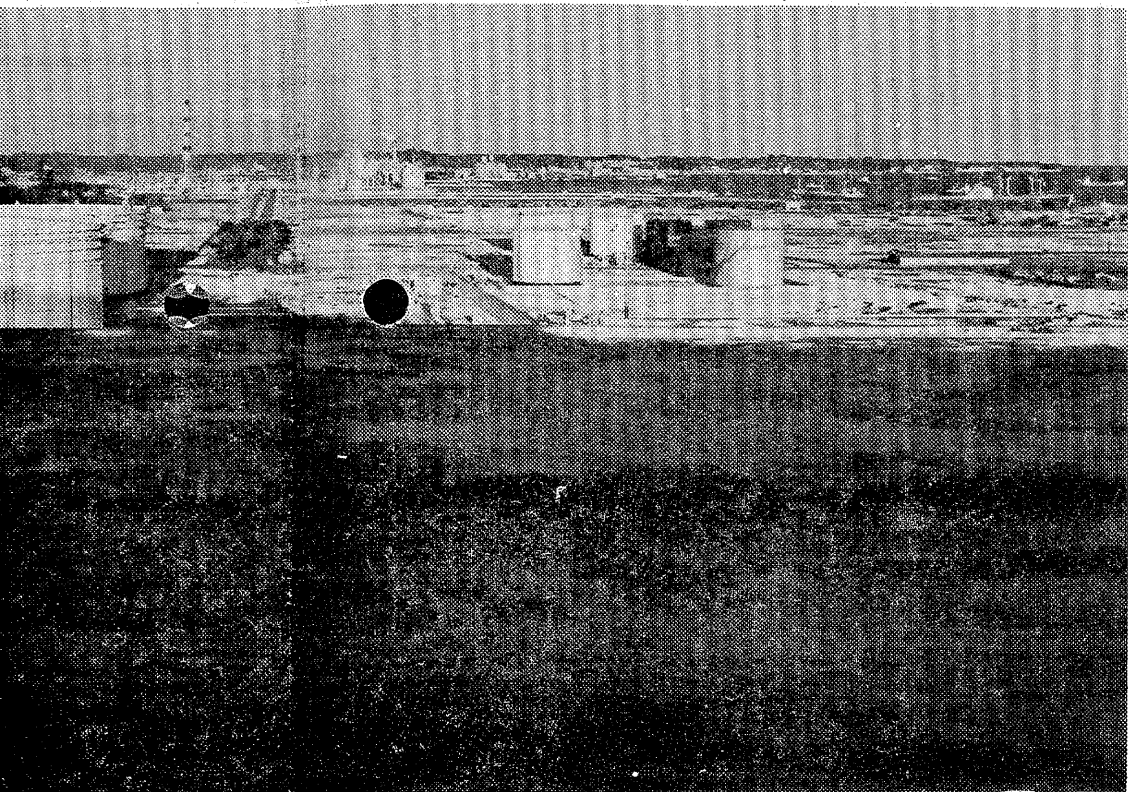
いわき市平競輪場バックスタンド建設工事

- | | | | |
|---------------------------------|---|------------------------------|-----|
| ☐ 施主 | いわき市 | ☐ 総工費 | 5億円 |
| ☐ 設計 | (株)蛭田建築設計事務所 (社長 蛭田清三氏) | | |
| ☐ 施工 | (株)加地和組 (所長 吉田泰久氏・主任 山田由松氏) | | |
| ☐ 田村建材担当 | Pタイル・磁器タイル・クリンタイル・観覧席椅子、カウンター(FRP)・内、外装吹付、ケミクリート(耐酸塗リ床)、コンピューター室床工事
(営業担当 寺嶋健一・安斎 勇) | | |

田村建材株式会社

本社	いわき市内郷綴町金谷1番地の7	☎0246 ②3121代
郡山支店	郡山市喜久田町(南東北総合卸センター内)	☎0249 ⑤6121代
白河営業所	白河市桜町58	☎02482 ②4047

製油業界に再編成の動き



石油ショックで強力パンチを食った日本の石油業界、特に民
立たされるハメとなった。もちろん外資系資本の会社も大変で
雪わけてまだ救われた方であつた。

このため世界の諸富国代表が集
まつて、現在六十日分の備蓄量を
九十日分まで増やそうということ
を申し合はれた。つまり、国際的
合意をうけたおベックと対抗し
ようというもので、少なぐとも昭
和五十四年までに達成すること
を目標として努力することになつ
た。

ところがこの三十日分の原油は
ザツと四千万トン、富士興産が小
名浜に持っている大型タンク（十
万トン）が四百個も必要だといふ
のだから大変だ。これだけの備蓄
よつて、民族系の石油業におけ

まず製油所建設優先

会社側は **まだ白紙の立場**

府が日本全体の問題として検討していることであるが、今年にはかなり業界でもこの話し合いが進展してくるだろうから、どのように

90日備蓄達成のため
石油ショックに対抗し

工場・建設するまでの間、それを利用してはどうだろうというのが通産局のネライであったようである。

富士興業としては膨大な貯油施設を建設するだけの余裕が小規模の用地にあるのか、実際に製油所をつくる時になって支障はないのか、そして九十日備蓄計画は石油・ニッケルに備えて三十四年まで成ることをめざし、いすけ官民による共同備蓄会社が日本各地に生まれ、これは必至、それによつて原油購入代金、タンク施設費などの融資や政府保証はされるだろう。この意図が与えられるなら、うとい見方が強いようである。

防災上問題も多い？

消防法とむずかしい関連

小名浜鎮海工業地にもこのように大型石油備蓄タンクが林立するようにならねばならぬ、防災上いろいろな問題が残だらう。昨年初、備蓄会社がつかさぬにほり富士興産敷地が隣にあがつていろいろの報道があつたとき、警戒消防署が驚いて同志と派兵出張所に「事実か何か、問い合はせている。いまの小名浜港での防災計画も心細いといわれているとき、膨大な油脂貯蔵計画がいきなり出現したとすれば、この消防防

の心配も当然のことであらう。また、具体的に決まつたわけではないが、消防法との関連でむずかしい問題が残さぬといふべきであらう。

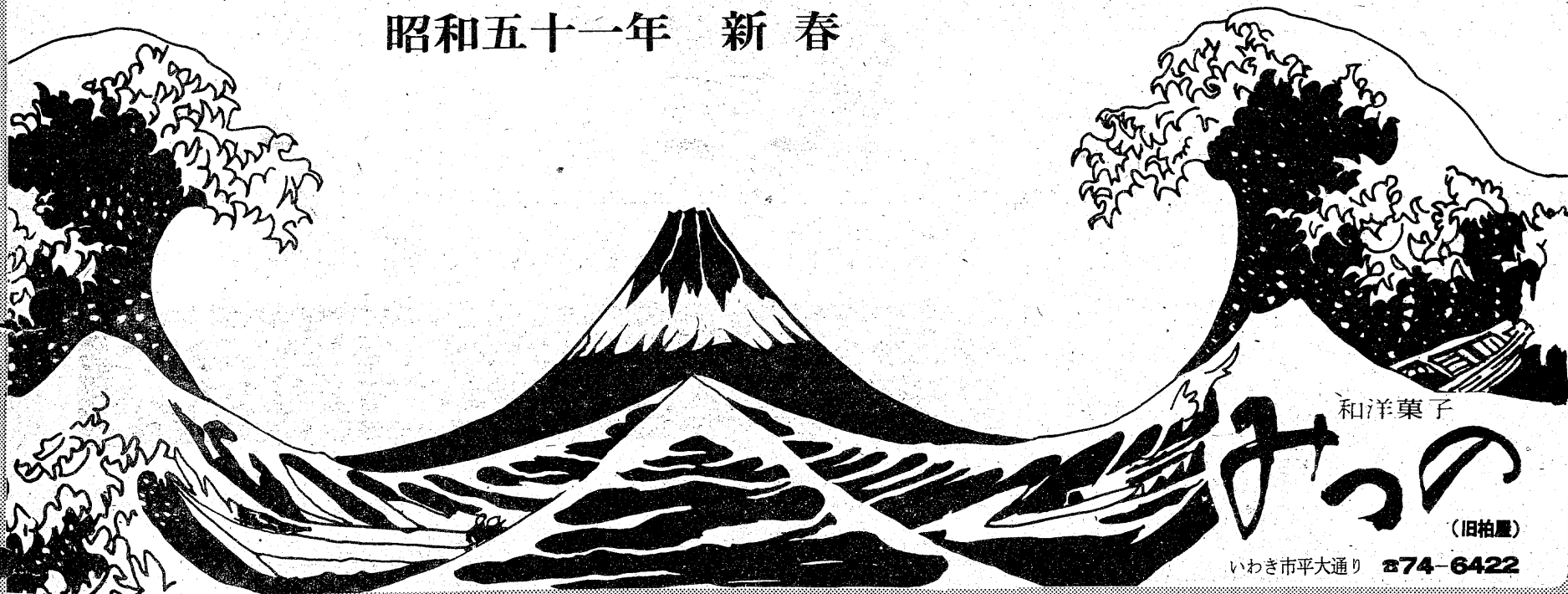
富士興産は潤滑油、重油を中心とした民族系製油会社で、本社は東京・千代田区一四一三永田町ビル。創立は昭和二十四年九月、海軍、船舶に製油所があり、小名浜製油所は五十二年四月、元バレル、五十二年四月、六万バレルで稼動予定。

富士興産は潤滑油、重油を中心とした民族系製油会社。本社は東京・千代田区二一四「三永田町ビル」。創立は昭和二十四年九月。海南、船橋に製油所があり、小名浜製油所は五十二年四月三万バレル、五十三年四月六万バレルで稼動予定。

●あけましておめでとうございます

今年もお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます

昭和五十一年 新春



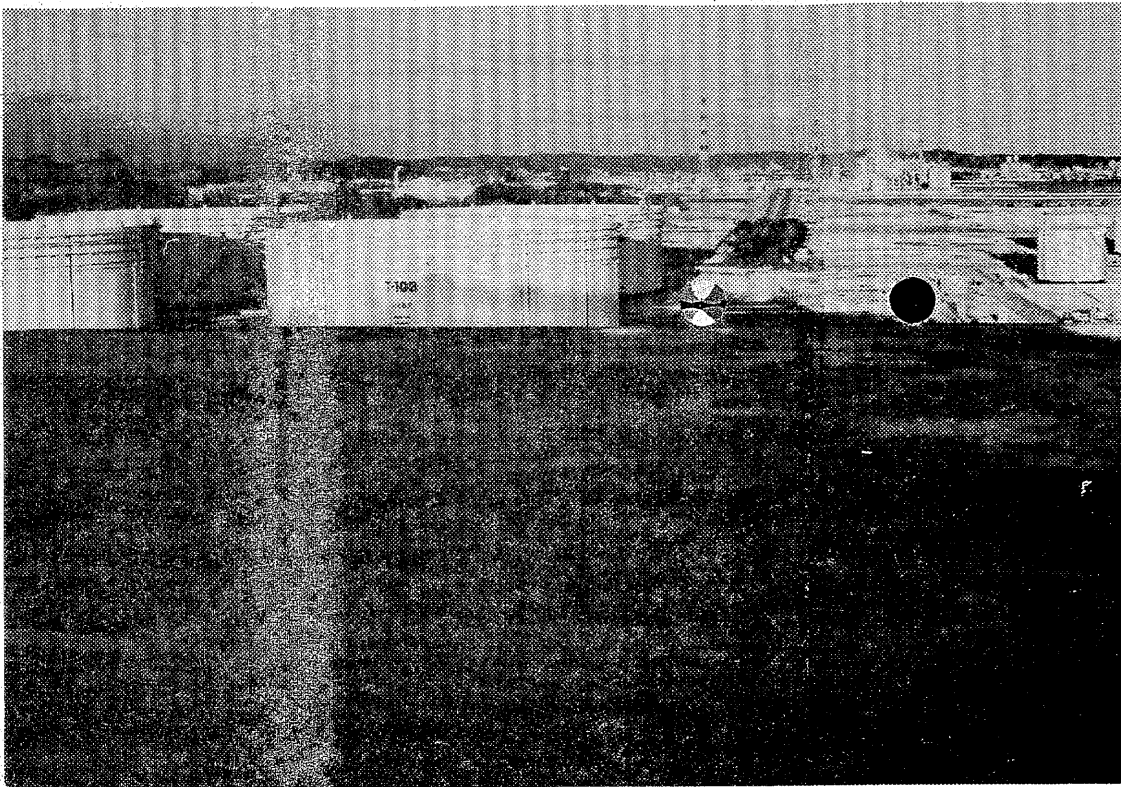
和洋菓子

〔旧柏屋〕

いわき市平大通り 874-6422

小名浜が原油備蓄会社

わが国製油業界に再編成



製油所は52年完成

石油審が延期答申

富士興産

富士興産がいわき市小名浜に出張所を設けてから、すでに六年になる。小名浜石油コンビナートの中核として大きな役割を果たすための進出企業だが、大きな用地をかせぎきれずに、製油所の建設が遅れてきたと噂されている。

富士興産が石油審議会から小名浜に出張所を設けたのは、いまだ石油ショックで、四十一年九月十三日の石油審で第一回は三万バレルを四十九年十月まで、目の三万バレルは五十二年四月までに完成させる、というものであった。第二回の六万バレルは五十二年四月までに完成させる、というものであった。第三回の九万バレルは五十二年四月までに完成させる、というものであった。第四回の十二万バレルは五十二年四月までに完成させる、というものであった。第五回の十五万バレルは五十二年四月までに完成させる、というものであった。第六回の十八万バレルは五十二年四月までに完成させる、というものであった。第七回の二十一万バレルは五十二年四月までに完成させる、というものであった。第八回の二十四万バレルは五十二年四月までに完成させる、というものであった。第九回の二十七万バレルは五十二年四月までに完成させる、というものであった。第十回の三十万バレルは五十二年四月までに完成させる、というものであった。

どの会社も軒並み

小名浜は 油槽所として活用

これは富士興産はかりでない。景町大剣に広大な用地を手当て、四十六年秋から四十八年までに新し、工場建設までの間は十萬バレル・増設を認められた全国の延べ二の大型原油貯蔵タンク四基を、十四件の製油所のうち、昨年十月、小名浜油槽所配分基地としてスタートした出光興産の愛知製油所施設を利用している。所十三万バレルを除いては全部、トンプされたまま、中に建設費通しが暗いときで、用置収も済んでいない会社もあるようだといふ。

不運だった現
地採用の人達

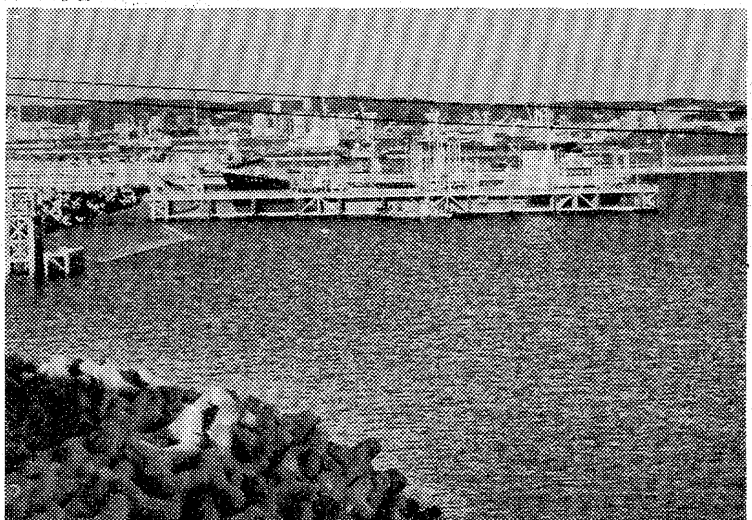
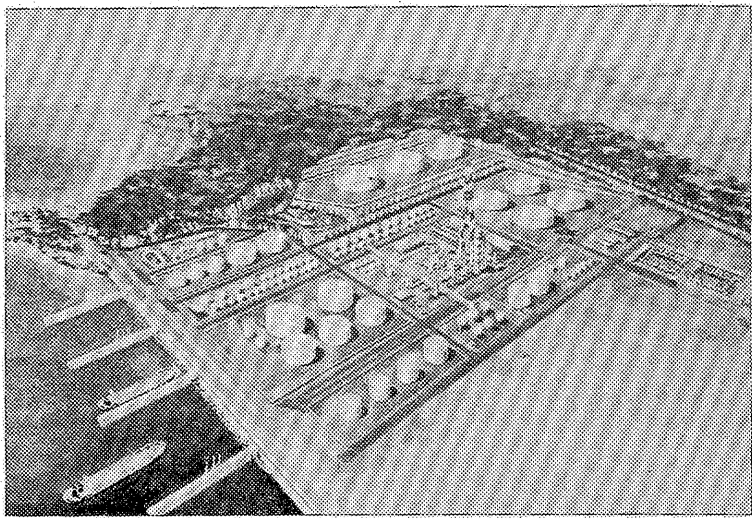
それはかなりでな小名浜製油所建設に備えて、地元が約八十人

完成予想図も 出来ているが

実際は、いさむ

富士興産の製油所とはどうい

形のものにしろ、まだ三きりした資料は送られていない、しかし同社が発行している営業用の案内書に、小名浜製油所の完成予想図というものが、順調に五十二年三月完



指定される特 別防災区域

関係者成り行き見守る

成のときは石油事情もたいさばわっているのではない、この図と区域に指定される見込みだが、巨

い。しかも、小名浜・原油の大規模な建設されるとすれば、海陸両面からの防災計画そのものが、根本的に練り直さなければならない。現在の規模でも防災対策がとくに議論されているとき、このようなかかりなこともあれば、つかいこの上もない話、そういう意味でも、関係者は原油の九十日備蓄計画の成り行きを見守っているところだ。

写真

【中央】このように広大な用地がまだあるため石油備蓄基地に用いられると話題にのぼった小名浜の富士興産（左）五十二三年に完成予定の製油所（右）小・中型タンカーが横付けして活用されている富士興産小名浜油槽所の様子

いわき市小名浜臨海工業地帯に進出が決まっている富士興産（社長）は、石油ショックの嵐が吹きまくった中で小名浜製油所が石油審議会で延期されるといふハプニングを見たが、こち出した原油備蓄の強化策、ならびに石油業界のブロック化“大揺れ”。すでに小名浜港に百万キロという大規模な備蓄うわさも、一部にチラホラ出は始めている。そこで小名浜石油の核・富士興産に焦点をあてながら、はたして小名浜港に施設が出現するのかどうか、混迷する業界の中から、情報を

あけましておめでとうございます

昭和51年 元日

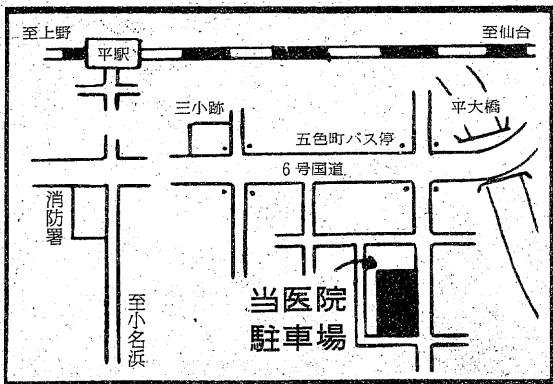


●診療科目 外科・整形外科・理学診療科

長谷川外科・整形外科

院長 長谷川 国 男

平字五色町78 TEL・74-5691（受付）22-2969（病室）



●あけ
今年も

